

オンラインコスキン開催



5月中旬、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を断念した国内最大級の南米音楽の祭典「コスキン・エン・ハポン」（以下コスキン）。令和元年東日本台風の影響により開催を断念した昨年に続き2年連続での開催中止が決定した。開催中止決定後、全国各地で広がる開催を希望する声。その想いは実を結び、今年は半世紀続くコスキンの歴史の中で初となる動画配信という形での開催となった。開催当日、鶴沢公民館に中継基地を設置し、事前に収録した計128組の動画を司会進行に合わせて12時間生放送。総視聴回数1万回、配信中、「来年こそは川俣町で」「いつも行くことが出来なかったけど今年は川俣町にいる気分」など、国内外多くの視聴者からのコメントで溢れていた。コスキンを愛する人々の想いが新しい形での「コスキン開催へと導いたのだった。

海を越え、つながる想い。
コスキンは負けない。



Cosquin!

Viva!



- ①東京とアルゼンチンで活躍するプロの演奏家、小川紀美代さんの演奏 ②沖縄から初登場の金武憲祐さん。7つの楽器を演奏し、オリジナル曲を披露
- ③川俣町からエール！と題し視聴者へ向けたメッセージ動画を放送 ④世界で活躍するプロの演奏家、木下尊厚さんとフランスの皆さんとの演奏
- ⑤チリと日本の15人で結成された智架楽による演奏。海を越えてのコラボレーションとなった ⑥アミーゴ・デ・川俣の子どもたちによる演奏
- ⑦アルゼンチンを代表する歌手のカロリーナ・ベリレッティさん。昨年の来町を思い出させる歌声を披露した
- ⑧埼玉のロス・アスピランテス。17人で本格的な演奏と踊りを披露 ⑨パソコンを囲んでの視聴会の様子 ⑩アルゼンチン大使館からのビデオレター
- ⑪⑫中継会場にはコスキンゆかりの品々が飾られた ⑬中継基地となった鶴沢公民館。12時間の生放送に向け念入り打ち合わせが行われた

